

科目名	成人看護援助論Ⅳ		時期	時間	単位	
担当教員	非常勤講師 看護師として5年以上の実務経験を有する 専任教員		2年次	前期・後期	30時間	1単位
科目設定理由	近年、高度先進医療技術の発展やがん遺伝子の検出、分子標的薬の開発等により、患者一人ひとりの経過予測や治療の効果予測が可能になり、これらに基づいた最適な個別化医療が進んでいる。また、がん診断早期から緩和ケアを提供することで生存期間の延長がもたらされることが報告されるなど緩和ケアの重要性が広く認識されてきている。そこで、がん患者の特徴や緩和ケアを必要とする患者と家族に応じた看護を学ぶ必要がある。また、看護のプロセスをについて演習を通して理解することにより、成人看護の実践能力の向上を図るため当該科目を設定した。					
学習目標	1 がん患者と家族への看護を理解する 2 終末期および緩和ケアを必要とする対象とその家族の特徴および看護を理解する 3 事例において、成人期にある対象の問題を解決するための看護過程を展開する					
修得する看護技術項目	No.67 人体へのリスクの大きい薬剤ばく露予防策の実施（レポート）					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容			備 考	
1～4	がん患者の看護①	1 がん患者の苦痛に対するマネジメント 2 がん患者の心理的サポート 3 がん治療に対する看護 4 がん治療の場と看護 5 治療をうける患者の看護 (1) 脳腫瘍 (2) 舌がん (3) 咽頭がん (4) 喉頭がん			講義	
5～6	がん患者の看護②	1 乳がんの治療を受ける患者の看護 (1) 乳房の手術を受ける患者の看護 (2) 化学療法を受ける患者の看護 (3) 放射線療法を受ける患者の看護 (4) ホルモン療法を受ける患者の看護			講義 No. 67	
7～10	緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	1 緩和ケアにおける看護介入 2 身体的ケア (1) オピオイドを使用する患者の看護 他 3 精神的ケア 4 社会的ケア 5 スピリチュアルケア 6 家族ケア			講義	
11～14	事例展開	1 看護過程の考え方 2 事例展開の実際 (1) アセスメント (2) 看護上の問題点の明確化 (3) プランニング			講義・演習	
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[1]成人看護学総論	小松 浩子 他	医学書院			
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7]脳・神経	井手 隆文 他	医学書院			
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[9]女性生殖器	末岡 浩 他	医学書院			
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[14]耳鼻咽喉	小松 浩子 他	医学書院			
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[15]歯・口腔	渋谷 絹子 他	医学書院			
	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論	北川 雄光 他	医学書院			
	系統看護学講座 別巻 がん看護学	小松 浩子 他	医学書院			
	系統看護学講座 別巻 緩和ケア	恒藤 暁 他	医学書院			
	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術	任 和子 他	医学書院			
	乳がん患者ケアパーフェクトブック	阿部 恭子 他	学研			
	看護が見えるvol.4 看護過程の展開	医療情報科学研究所	メディックメディア			
参考図書・資料等	がん患者に対するアピアランスケアの手引き	国立がん研究センター	金原出版			
	ゲノム医療時代のがん分子標的薬と診断薬研究 実験医学増刊 Vol.38 No.15	西尾 和人	羊土社			
	特集がんゲノム医療用語事典 臨床検査 2020年10月号増刊号		医学書院			
評価方法	筆記試験、グループワーク、レポート、出席状況などを総合的に評価する					